



# 北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校  
学校だより  
No16  
文責 芹川博文  
8月26日(月)

## 「刃を研ぐ」 「夏の収穫」を持ち寄り、磨き合う

～ 夏休み明け 前期後半のスタートにあたって ～

昔々、あるところに一人の旅人がいました。森の中を歩いていると、ノコギリで大きな木を切っている木こりに出会いました。木こりは旅人が挨拶しても気がつかず、汗だくで休むことなく切っています。しかし、どうも木は切れていきません。しばらく眺めていると、あることに気づきました。ノコギリの刃がさびついてボロボロなのです。思わず旅人は声をかけました。

「木こりさん、木こりさん、手を休めて、ノコギリの刃を研いだらどうですか。切れ味が全然違うと思いますよ。」すると、木こりは手を休めることなく答えました。「馬鹿言っちゃいけない。こっちは忙しいんだ。手を休めて刃を研ぐなんて、そんなヒマはないよ。」



上の話はイソップ物語に由来し、世界で4000万部売れている大ベストセラー「7つの習慣」(ステイブン・R・コヴィー著)の7番目の習慣「刃を研ぐ」にもつながります。ちなみに、私自身も上の話と似たような苦い経験を何度もしてきました。

夏休み期間、工事のため北中の体育館は使用ができませんでした。照明をLEDライトにしていたのです。つけた瞬間の明るさに感動するとともに、蛍光灯と比較した時の大幅な寿命の長さ、消費電力の少なさなどの特徴を考えると、工事にかかる費用や不便さを考えても、十分その「良さ」が分かり、まさに「刃を研ぐ」ことの大切さを感じます。今後、大切に使用させていただきます。

さて、この夏休み、沢山の北中生の素敵な姿に出会いました。うまくいった経験も、いかなかった経験も、その人の捉え方で「宝」となります。まさに「夏の収穫」です。それぞれの「夏の収穫」を共有し、お互いに磨き合い刃を研ぐきっかけにしてほしいと願います。今回は3つ紹介いたします。

### 「互いに磨き合う 刃を研ぐ」その1 駅伝朝練

夏休み初日の早朝から、菊心台(北中グラウンド)では力強く走る生徒たち(と先生方)の姿がありました。メンバーの中には、自ら志願して参加している生徒もいるようで意識の高さを感じました。特に今年は教育実習で来られた清田先生に助っ人として指導していただきました。本校陸上部出身で、大学でも陸上をされている清田先生はまさに兄貴的存在。苦しさの中にも、互いに声を掛け合い励まし合う生徒たちのたくましい姿。彼らにとって、大きな「夏の収穫」であると感じました。大会は10月18日です。



### 「互いに磨き合う 刃を研ぐ」その2 自主勉強会

場所は3年生教室横のイングリッシュ・ルーム。こちらも初日から静かなる気合に満ちていました。中体連を終え、進路を切り開くための勉強に打ち込む3年生。進む道は違って、お互いに頑張る姿を感じながら進んでいる。そんな空気が感じられました。高校合格が一つの目標ではありますが、あくまでも通過点。なりたい自分を思い描き、常に学び続けることを大切にしたいと願います。たまには一息ついて「刃を研ぐ」ことも忘れずに。



### 「互いに磨き合う 刃を研ぐ」その3 SDGsフェス

「この問題、分かる人!」の声に、「ハイ」と手を上げる沢山の小学生。7月28日(日)、菊池市のSDGsフェスティバルで、北中の菊づくりを通じた取組を発表した角田 耕平さんと田中 那奈さん。二人のアドリブを交えた発表力で、会場の「空気」は一気に和やかになり一体感が広がりました。

今年度北中がこだわっている重点事項の一つが「自分の言葉」。いかに思いを込めて言葉を伝えるか。そのモデルともなる発表だと感じました。



### 早朝より ありがとうございます ～ PTA 美化作業 ～

一気に綺麗になっていく様子に、北中保護者の方の熱い思いを感じました。8月17日(土)の早朝より暑い中での作業、本当にありがとうございました。おかげで、前期後半が気持ちよく、そして安全にスタートできます。

